

町田市地域防災計画2023年度修正（案）について

町田市では、「町田市地域防災計画」と「町田市事業継続計画」の修正を循環させブラッシュアップを図る「町田市版 BCM」に取り組んでおります。

2023年度は、町田市版 BCM に基づき、町田市の防災対策の更なる向上を図るため、町田市地域防災計画の修正作業を進めてまいりました。

このたび、防災会議幹事会での審議を経てパブリックコメントを実施し、修正案を作成いたしました。なお、パブリックコメント実施結果により、一部修正いたしました。

1 修正のポイント

(1) 各種計画修正への対応

◆東京都地域防災計画（震災編）の反映【全編】

2023年5月に公表された東京都地域防災計画（震災編）の修正内容と整合性を合わせるため、全編において、多様性の尊重について記載する等の関連する文言修正をしました。また、都計画と整合させた減災目標を設定するとともに、第2章 災害予防計画において、「マンション防災における自助・共助の推進」や、「個別避難計画の作成」について記載しました。

◆町田市事業継続計画（地震編）（2021年度修正）の反映

【第1章 第1節 計画の策定方針 P11、第3章 第1節 応急活動体制の確立 P161】

2021年度に修正した町田市事業継続計画において明確化した非常時優先業務の実施に係る人員の配分調整手順との整合を図りました。また、町田市災害時受援応援計画等、関連計画との関係性を明らかにした、計画体系図を記載しました。

(2) 新しい被害想定に基づく避難施設別避難者推計の実施

【第1章 第4節 被害想定 P35、第2章 第9節 生活救援体制の整備 P133】

地域防災計画の修正と並行して、地域特性を反映した避難施設別の避難者数の推計を実施しております。新しい被害想定を反映するとともに、「物資調達体制の整備」において、必要備蓄量の基準を明確化し、各地域の推計避難者数に応じた備蓄の整備を推進する旨を記載しました。

(3) 法改正等への対応

◆災害対策基本法の一部改正（2021年5月）の反映

【第2章 第11節 要配慮者等支援体制の整備 P145、第4章 第12節 避難対策 P439】

避難情報の発令についての見直しが行われ、町田市においても、既に運用にて変更内容を踏まえた避難情報を発令しているところですが、市民等の避難行動の支援へと

つなげることができるよう計画に記載しました。また、個別避難計画の作成が市町村の努力義務とするよう改正されたため、個別避難計画の作成について記載しました。

◆地震に関する地域危険度測定調査（第9回）の結果への対応

【第1章 第4節 被害想定 P43】

東京都震災対策条例に基づき、東京都が概ね5年ごとに調査を行っている地震に関する地域危険度測定調査（第9回）が2022年9月に公表されました。

この調査は、町丁目単位で危険度を5段階で出しており、数字が上がるほど危険度が高まり、建物倒壊危険度（建物倒壊の危険性）、火災危険度（火災の発生による延焼の危険性）等を加味して測定しています。

町田市内においては、前回（2018年3月）調査では、金森1丁目、森野3丁目、高ヶ坂1丁目危険度3、今回調査では、森野3丁目のみが危険度3、他は危険度が1～2となりました。

これらの調査結果について地域防災計画に記載しました。

（4）震災対応図上訓練から得た課題への対応に伴う修正【全編】

2023年1月に多摩東部直下地震を想定した、「震災対応図上訓練」を実施しました。訓練からは、庁内関係部署との情報共有のオペレーションや市民への情報発信に関する課題が抽出されました。

今年度、町田市防災システムを更改し、市民向け防災ポータルサイト（町田市防災WEBポータル）を導入しましたので、これらを活用した迅速な情報把握や分かりやすい情報発信を行うよう記載しました。

（5）その他の修正

◆地区防災計画の策定

【第2章 第1節 災害に強い人と組織づくり P66、資料編】

災害対策基本法に、地区単位の居住者等が行う自発的な防災活動に関する「地区防災計画制度」が定められています。玉川学園第三地区自主防災隊から提案がありましたので、地域防災計画に記載しました。

2 パブリックコメント実施結果（資料2）

2024年1月5日（金）～2月2日（金）の期間に実施いたしましたパブリックコメントにて、資料2の通りご意見をいただきました。

パブリックコメント実施結果については、2024年4月頃に、市ホームページ等で公表する予定です。